

と連携し農地中間管理事業による地域の中心となる担い手への農地集積を図ってまいります。

都市と農村との交流につきましては、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、実現可能な内容での交流継続を目指し、平泉町グリーン・ツーリズム推進協議会による教育旅行の受け入れや、農家民泊などの開業を支援してまいります。

鳥獣被害につきましましては、国の補助も活用しながら、鳥獣被害対策実施隊による捕獲や、電気柵の設置などの対策を実施すると共に、鳥獣被害対策実施隊員の育成・確保に努めてまいります。

森林資源の保全につきましては、平泉町森林経営計画に基づき、除間伐等適正な森林資源の管理と計画的な森林の保全を図ると共に、森林病虫害防除を引き続き実施してまいります。

また、森林経営管理制度の運用による意向調査の回答を踏まえた対応を検討すると共に、経営管理権集積計画の策定等を進め、森林の適正な経営管理の促進に努めてまいります。

森林資源の活用につきましては、西行桜の森や大文字キャンプ場の環境整備、東稲山の桜情景復

また、経営環境改善の一助となる店舗リフォーム促進支援事業および空き店舗対策事業の運用、各種融資制度の周知と活用を促すことにより、中小企業の振興と経営の安定に努めてまいります。

さらに、特産品開発支援事業や取引支援促進事業等を継続的に実施することによって、販路開拓や技術開発、サービス提供等へ支援を行い、海外出展も視野に入れた新たなビジネスモデルの創出を促してまいります。

働く場の充実

企業誘致につきましては、町内の工業団地に空きスペースがないことから、新しい工業団地の造成を検討すると共に、企業版ふるさと納税を活用した「バイオレジリエンス産業都市」を目指す実質的な活動を促進してまいります。

また、誘致企業が安定した生産活動を行えるよう増設などに対しては補助金を交付するなど、フォローアップを行うほか、誘致企業と連携したプログラミング人材の育成事業を引き続き実施し、町内での起業に向けた支援に取り組んでまいります。

雇用の拡大や産業の活性化など



西行桜の森の植樹活動

活事業などによって誘客効果を高め、利用促進に努めてまいります。

観光の振興

観光の振興につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束状況を鑑みながら、JRの北東北デスティネーションキャンペーンを基軸とし、平泉観光協会などの関係機関、ガイドの会などの団体と連携しながら、世界遺産平泉の理念とSDGsとの共通性を説いたガイドブックを活用して、教育旅行の誘致などのプロモーションを積極的に展開し、併せて、平泉町ウォーキングトレイルや西行桜の森ウォーキングルート、伝統工芸、仏教関連等の体験メニューの充実を図り、滞在型観光への転換



プログラミング人材の育成事業

への波及効果が期待される国際リニアコライダーの誘致につきましては、関係機関と連携を図りながら情報収集・意見交換を行い、普及啓発に努め、政府による日本誘致の方針決定を促すなど、近隣市町村と共に積極的に取り組んでまいります。

雇用対策につきましては、商工会やハローワークなどの関係機関と連携・情報共有しながら、企業訪問や企業懇談会などを通じて企業間の情報交換を積極的に推進し、雇用要請活動や若者などふるさと就職支援事業補助金を継続し、新規学卒者へのふるさと就職ガイダンス等の場を設け、地域雇用の確保と地元就職の促進を図ってまいります。

また、少子高齢化が一段と加速している中で、町シルバー人材セ

を推進してまいります。

また、平泉スマートインターチェンジや平泉世界遺産ガイドンスセンターの完成によって、観光客の導線が大きく変化する可能性もあることから、各交通機関と連携し、巡回バスやレンタサイクル、語り部タクシーなどの運用を効果的に行うことで二次交通の充実を図り、周遊観光を促進すると共に、平泉スマートインターチェンジ駐車場につきましましては、イベントを誘致するなど、積極的に活用してまいります。

さらに、本町の地理的特性や文化財などを生かしながら、和歌山県田辺市などゆかりのある都市との交流を通じ相互理解を深めることで交流人口の拡大を図り、また町民の



平泉スマートインターチェンジ

ンターへの運営費補助等を継続しながら、高齢者の適正かつ安全な就業に努めてまいります。

安全・安心なまちづくり

地域防災力の充実につきましては、消防団員の報酬見直しなど処遇改善を行うほか、消防団配備の消防車両を更新し、防災・減災力の強化を図ると共に、防災に対する普及啓発に努め、町民の安全安心な暮らしを維持してまいります。

交通安全対策につきましては、警察や交通指導隊、交通安全母の会、交通安全協会などの交通安全関係機関と連携を図りながら、年間を通じた季節ごとの交通安全運動をはじめ、日々の街頭指導や啓発活動、交通安全教室などを実施



秋の交通安全運動

国際化への意識を高め、飲食店のメニューや案内表示などの細部にわたる多言語化を推進し、外国人観光客への対応が可能な地域づくりに取り組んでまいります。

商工業の振興

令和4年度は、平泉町観光振興計画の最終年度にあたることから、5年の計画期間の総括を行い、社会情勢や本町の現状を踏まえた上で、令和5年度からの新たな計画を策定してまいります。

商工業の振興につきましては、平泉商工会と連携して新型コロナウイルス感染症によって影響を受けている事業者の支援を最優先とし、その上で平泉町経営発達支援計画や平泉町事業継続力強化支援計画、平泉町創業支援等事業計画に基づき、地元に着した魅力ある商店づくりや中心街路の活性化を促進することで商業活動の活性化や再生を目指し、ひらいずみ創業塾の開催や平泉町創業支援ネットワーク会議を軸とした多様な事業展開を切れ目なく行うことにより、創業、事業承継および経営力向上による経営基盤の強化に取り組んでまいります。

し、特に高齢運転者の事故防止や死亡事故ゼロ日の継続など、交通事故のない安全な町の実現に向けて取り組んでまいります。

災害時における要援護者への支援につきましては、避難行動要支援者避難支援計画に基づき、関係機関や民生委員・児童委員、地域団体などの理解と協力を得ながら、要支援者名簿の更新と見守り支援を行い、併せて個別支援計画につきましましては、福祉や介護専門職との連携協力を図りながら作成に向けて取り組んでまいります。

災害時における災害ボランティアセンターの設置につきましては、社会福祉協議会と連携し、災害ボランティアへの対応などに備えてまいります。

道路の整備

道路の整備につきましては、町道ねずみ沢線を継続して実施すると共に、町道大佐3号線を含む町道樋の沢大佐線の事業化に向けたルート検討を行ってまいります。

また、平泉スマートインターチェンジに隣接する駐車場にトイレを設置し、利便性の向上を図ってまいります。